

# 令和元年度 鶴岡市男女共同参画に関する市民意識調査

## 報告書 【概要版】

令和2年6月  
鶴岡市

## 調査の概要

### ○調査の目的

鶴岡市男女共同参画計画の改定及び男女共同参画に資する施策の検討のため、本テーマに関する市民の意識や生活実態等の把握を目的としてアンケート調査を実施した。

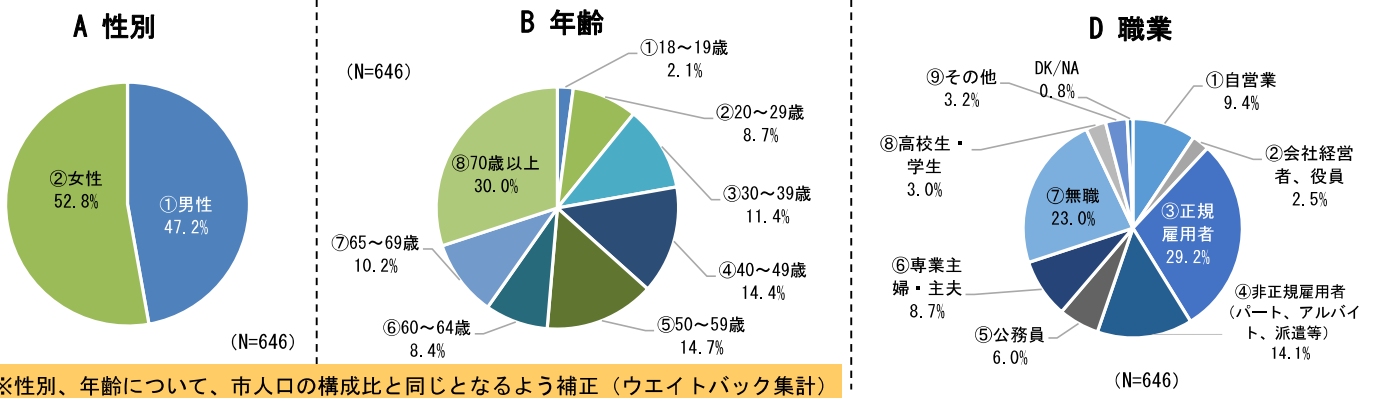
### ○調査実施の概要

調査期間	令和元年11月14日～11月30日
調査方法	郵送法（配布・回収）
調査対象者	鶴岡市在住の満18歳以上の男女 2,000人
サンプリング方法	住民基本台帳からの2段無作為抽出法（層化抽出法・比例配分法）
配票数	2,000票（住所不明による返送4票）
回収数	有効648票（無効36票）
有効回収率	32.5%（648票／1996票）
調査主体	鶴岡市 企画部 政策企画課
実施機関	東北公益文科大学（地域共創・人材育成研究所）

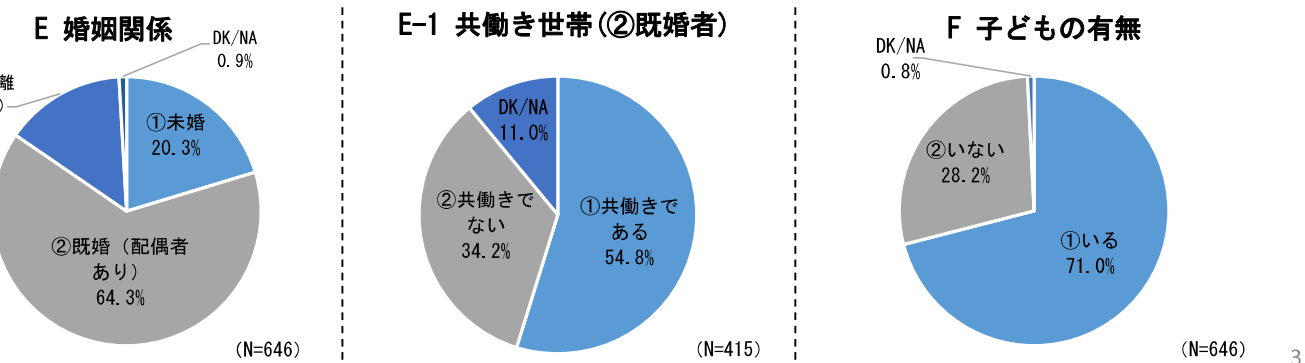
※調査結果は、鶴岡市の年齢構成比に合わせウェイトバック集計を行っている。

# 回答者の属性

調査回答者の主な属性については以下のとおり。



※性別、年齢について、市人口の構成比と同じとなるよう補正(ウエイトバック集計)



## 調査結果概要

### (1) 男女共同参画社会について

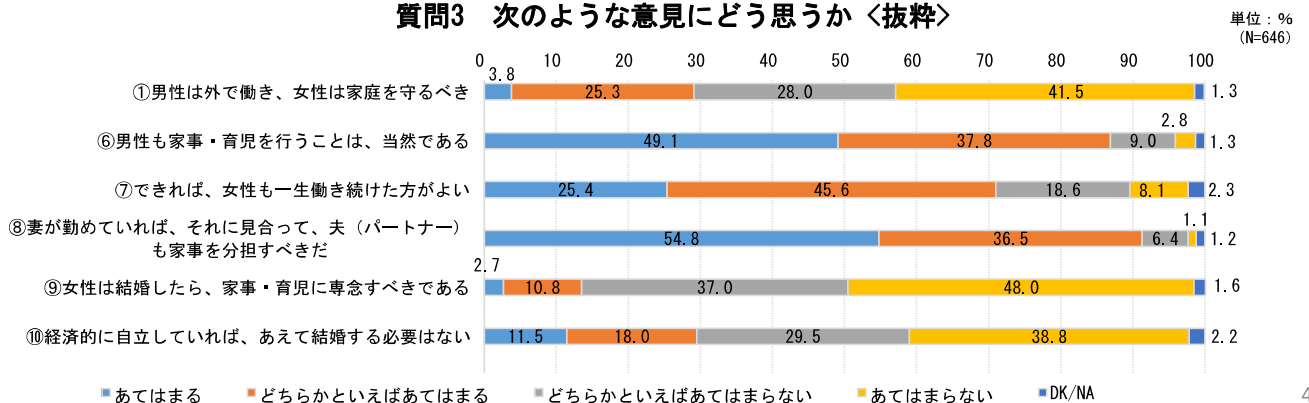
**質問3 次のような意見に対してどのように思いますか。**

- ①男性は外で働き、女性は家庭を守るべき
- ②子どもが3歳くらいまでは、母親は仕事を持たず育児に専念すべきだ … など14項目

#### 【結果の要約】

- 男性の家事・育児の分担に肯定的な回答の割合が高くなった  
※肯定的回答…「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」
- 固定的な性別役割分担(男性が仕事/女性が家事・育児、など)に否定的な回答の割合が高くなった  
※否定的回答…「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」
- 回答者の年齢別にみると、若年層ほど上記の傾向が強い

質問3 次のような意見にどう思うか <抜粋>



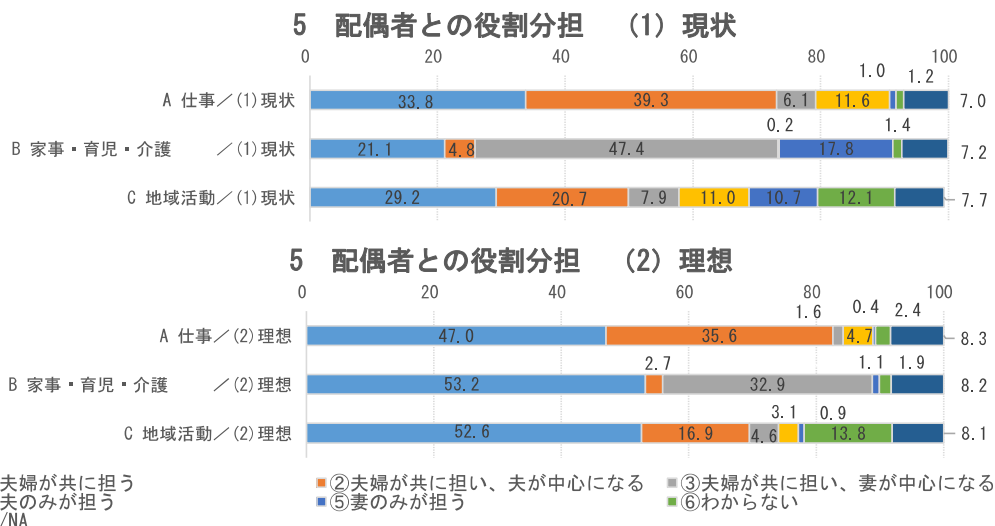
# 調査結果概要

## (2) 生活のバランス等について

質問5 配偶者との役割分担について、現状と理想をお答えください。

### 【結果の要約】

- 役割分担の理想は、仕事、家事・育児・介護、地域活動の全てで「夫婦が共に担う」の回答割合が最も高くなった
- 一方、現状については、仕事は「夫婦が共に担い夫が中心になる」、家事・育児・介護は「夫婦が共に担い妻が中心になる」がそれぞれ最多となった



5

# 調査結果概要

## (3) 就業環境・職場環境について

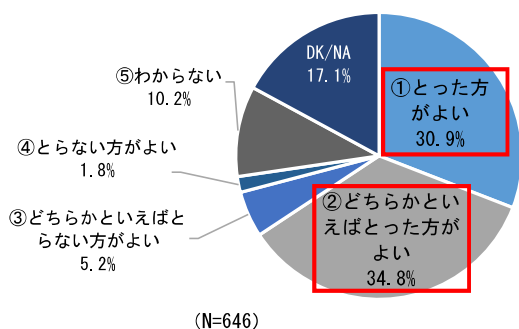
質問8 男性が、育児休業や介護休業・休暇を取得することについてどう思いますか。

質問9 (質問8で「とらない方がよい」の場合) そう考えるのはどのような理由ですか。

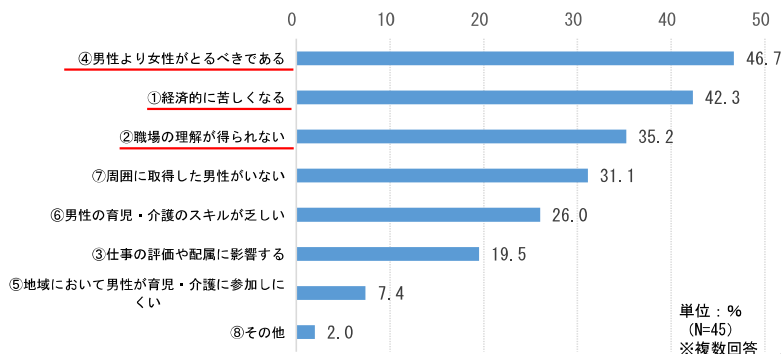
### 【結果の要約】

- 男性の育児休暇等の取得に対して、肯定的な回答が約65%となった  
※肯定的回答…「とった方がよい」及び「どちらかといえばとった方がよい」
- 否定的に考える理由は、「男性より女性がとるべき」、「経済的に苦しくなる」、「職場の理解が得られない」が上位となった

質問8 男性の育児休業等の取得について



質問9 男性は育児休業をとらない方がよいと考える理由



6

# 調査結果概要

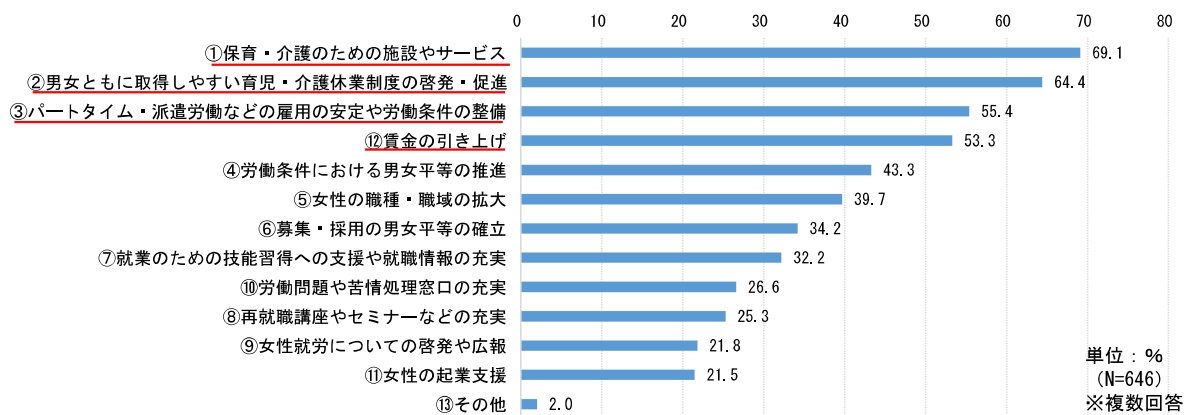
## (4) 女性活躍推進について

質問11 女性の就労に対する企業や行政による支援としては、どのようなことが必要だと思いますか。

### 【結果の要約】

- ・「保育・介護のための施設やサービス」が約7割と最多で、「男女ともに取得しやすい育児・介護休業制度の啓発・促進」も65%程度と高くなった
- ・続いて、「パートタイム・派遣労働などの雇用の安定や労働条件の整備」、「賃金の引き上げ」が上位となり、5割を超えている

質問11 女性の就労に対して必要だと思う支援



# 調査結果概要

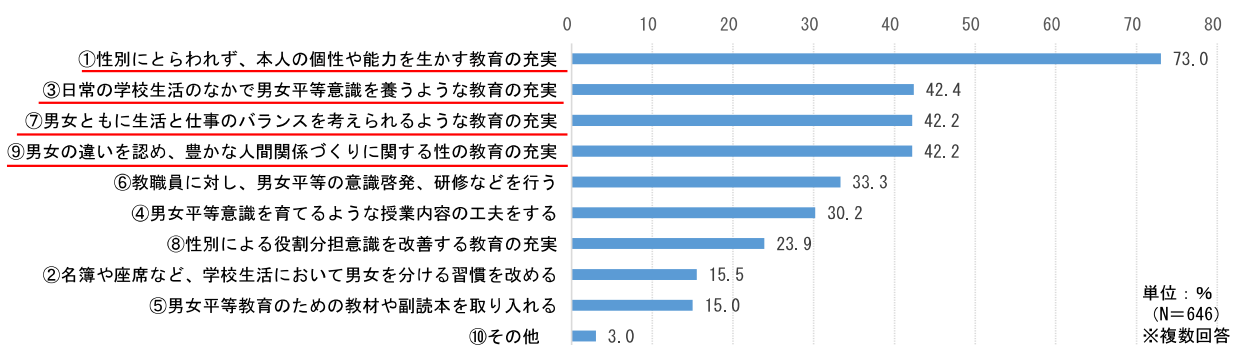
## (5) 学校教育について

質問15 男女平等の視点で学校教育を進めるために、どのような取組が必要だと思いますか。

### 【結果の要約】

- ・「性別にとらわれず、本人の個性や能力を生かす教育の充実」が7割超で最多となった
- ・続いて、「日常の学校生活の中で平等意識を養う」、「男女の違いを認め豊かな人間関係づくりに関する性の教育」、「男女ともに生活と仕事のバランスを考えられるような教育」が上位となった

質問15 男女平等の視点で学校教育を進めるために必要と思う取組



# 調査結果概要

## (6) DV（ドメスティック・バイオレンス）について

- 質問16 あなたはこれまでに、つぎのようなことを「パートナーからされた」または「パートナーにした」経験がありますか。
- 質問17 そのことについて相談した相手はいますか。
- 質問18（相談しなかった場合）だれ（どこ）にも相談しなかったのは、なぜですか。

### 【結果の要約】

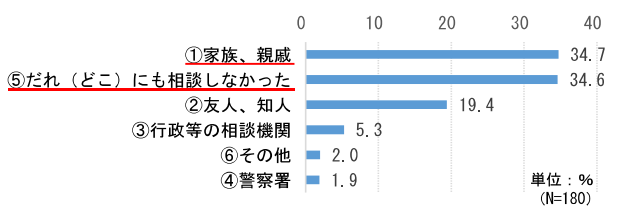
- DVの経験は「暴言・脅迫・無視などの精神的暴力」が最多で、精神的な『DVをされた』が約17%、精神的な『DVをした』が約11%
- DVに関する相談相手は「家族・親戚」が最多だったが、同水準で「相談しなかった」が続いた
- 相談をしなかった理由は、「相談するほどのことではない」が50%超で最多

質問16 DVを「された」「した」経験の有無

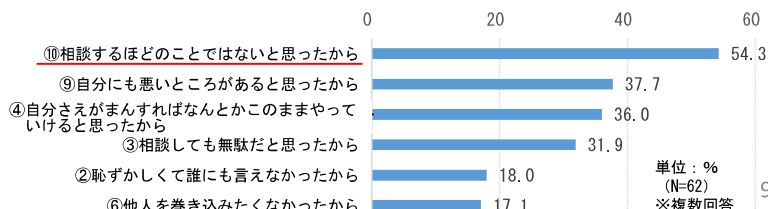
	DVをされた		DVをした	
	1,2回された	何回もされた	1,2回した	何回もした
①殴る、蹴るなどの身体的暴力	8.0%	2.5%	6.1%	0.9%
②暴言・脅迫・無視などの精神的暴力	10.5%	7.0%	8.0%	3.0%

(N=646)

質問17 DVについて相談した相手



質問18 DVについてだれ(どこ)にも相談しなかった理由<上位>



# 調査結果概要

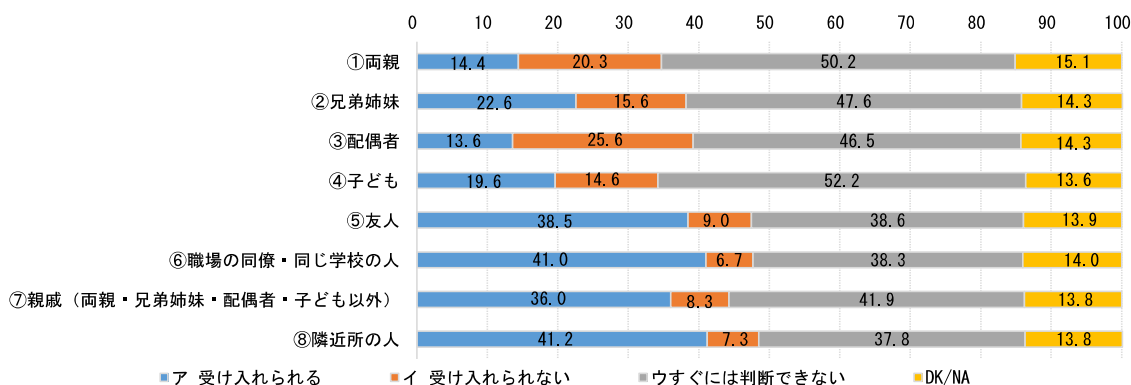
## (7) LGBT等性的少数者について

- 質問21 次の①～⑧の身近な方から、「セクシュアル・マイノリティである」などと打ち明けられたとき、それを受け入れられますか。

### 【結果の要約】

- 「受け入れられる」の回答割合は、隣近所の方が約4割で最多となり、続いて職場の同僚・同じ学校の人、友人が多くなった
- 両親・配偶者・子ども等、身近な人ほど「すぐには判断できない」の割合が高くなった
- 回答者の年齢別でみると、若年層ほど「受け入れられる」とする傾向が強い

質問21 セクシュアル・マイノリティであると打ち明けられたとき受け入れられるか



# 調査結果概要

## (8) 行政による取組について

質問23 男女が平等な立場で協力し合っていくために、鶴岡市としてどのような取組を進めるとよいと思いますか。

### 【結果の要約】

- ・「育児・保育・介護サービスの充実」が約65%で最多となり、「子どもを産み育てやすい環境づくり」、「子育てや介護による離職者の再就職支援」、「平等意識を育てる学校教育」の順に回答割合が高かった
- ・回答者の男女別にみると、上記4項目の回答割合は女性が男性を上回った

質問23 男女が平等な立場で協力し合うため鶴岡市が進めるとよいと思う取組

